

(様式 1-3)

福島県飯舘村既存ストック活用まちづくり事業計画に基づく事業等個票

令和 2 年 5 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	1	事業名	飯舘村村づくり調査	事業番号	A-1-1
交付団体	飯舘村		事業実施主体	飯舘村	
総交付対象事業費	6,000 (千円)		全体事業費	6,000 (千円)	
事業概要					
○事業の概要					
飯舘村は、新たな土地利用手法を導入しながら市街地整備を行う必要がある。 さらに、村民をつなぐ新たなコミュニケーションの場を確保することが必要な状況にある。					
・空き家等既存ストックの現状把握 草野・飯樋・臼石地区について、空き家等の現況を把握する。					
・具体的な対策の検討 住民のコミュニティの醸成及び生活環境の向上、または住民の移住促進等に資するよう地域の実情を考慮し、さらに既存の市街地が形成されている地域での村づくりへの波及効果を考慮して、空き家等の使用見通しを調査し、その活用計画を策定する。					
○既存ストック活用まちづくり支援事業計画と復興・まちづくり計画との整合性（実施要綱第 4 の 6 の一） 対象地区：草野・飯樋・臼石地区 ※復興・まちづくり計画の該当箇所を添付してください。 「いいたてまでいな復興計画（第 5 版）」の「6. 復興計画の実現に向けて」の「○復興の拠点づくりと中核的な担い手の育成」中、「将来的には、草野・飯樋・臼石地区をはじめとした従来の地域における拠点整備を進め、その他地区についても、復興計画（第 4 版）行政区ワークショップの内容や、地域の現状、及び特性を踏まえながら復興のために必要な取り組みを進めます。」に位置づけられる。					
当面の事業概要					
<令和 2 年度> 草野・飯樋・臼石地区に係る実態把握・対象検討等に係る調査を実施。					
空き地・空き家等の既存ストックの状況及び地域の帰還環境整備との関係					
【共通】					
○空き地・空き家等の既存ストックの状況 飯舘村は使用されていない空き家等が点在しており、施設の現況を把握する。					
○地域の帰還環境整備との関係 草野地区は、村内の主要幹線道路となる県道 12 号線沿いに位置する地区であり、復興再生を目指した整備を最初に行った地域である。村民の交流の場となる交流センターの建替、大谷地住宅団地の整備及び大師堂住宅団地の整備等を行っている。 飯樋地区には、村の南西に位置する地区であり、村民の帰村のための環境整備施策として、桶地内住宅団地を整備し、現在、旧飯樋小学校及び旧飯樋幼稚園敷地を活用して、村の復興震災記録交流施設の整備を進めているところである。					

臼石地区には、震災前まで小学校が開校されていたが、避難指示解除後に、役場近くの中学校に小中一貫校として統合されている。旧臼石小学校については、現在、村内での営農再開と大規模農業の展開を目指す民間企業の事務所として、貸し出している。

本計画の策定により、復興により増加する該当地区の居住者や、公共施設の利用者、住民の新たなコミュニケーションの確保に資することで、帰還促進と新たな交流人口の拡大に繋げる。

関連する事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	